

校長室だより

令和7年4月19日（土）
第3号
十日町市立中条中学校校長室

中条中学校の学習指導について

校長室だよりでは、中条中学校が取り組んでいることなども紹介していきます。保護者や地域の皆様にも是非ご理解・ご支援をお願いします。今回は学習指導についてです。

学習指導要領が求めるもの（その1）

中学校の教育は国が定める「学習指導要領」に基づいています。学習指導要領についてお話しします。

文部科学省は「学習指導要領」を「全国どこの学校でも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。子供たちの教科書や時間割は、これを基に作られています。」と説明しています。国の方針を受けて、県や十日町市は学校教育の重点や目標を定めています。

学習指導要領が求めているのは「主体的・対話的で深い学び」です。令和7年度新潟県学校教育の重点では、そのうちの「対話のある学び」を重視しています。

現在の社会の状況

教育界には、変化が激しく将来の予測が困難な時代にあっても、子供たちが自信を持って自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出していくことができるよう、必要な資質・能力をしっかりと育んでいくことが求められています。

資質・能力の
育成のために

基本的考え方

「主体的な学び」になっているか

「対話的な学び」になっているか

「深い学び」になっているか

という視点から、授業をよりよくしていく

【文部科学省のスライドより】

対話のある学び

【新潟県学校教育の重点より】

まずは、「主体的な学び」についてお話しします。

中条中学校「学びのススメ」の中にはこのように記述されています。

● 自ら学ぶ

中学校の3年間の中で、「自立」「自律」の学習習慣を身に付けていくことが大切です。

この「自立」「自律」の学習習慣とは、だれかから課題を与えられなくても、自分にとって意義のある学習内容を自ら考え、方法を工夫しながら実行していけるようになることです。

学習で大切なことは、「自ら学ぶこと」です。自分で課題を見付ける、自分から学習内容を考える、気になったことを調べてみる（知的好奇心を生かす）などの取組が大切です。しかし、学びを深めるには、まず基礎的な力を身に付けることです。中条中学校では、家庭学習に1人1台端末の「ドリルパーク」を利用した学びを推奨しています。基礎的な知識を身に付ける手段として是非活用ください。「継続は力なり」です。



● 関わり合いを通して学び続ける

学ぶ楽しさを感じる【主体的な学び】

- ・仲間と協力して取り組むことで、一体感や団結力が高まる。
- ・互いの意見を交流することで、学習に積極的に参加することができる。
- ・自分たちの力で課題を解決することで達成感を味わえ、粘り強く学習を継続することができる。

達成感こそ、粘り強く学習に取り組める薬です。最初から難しいものに挑むと達成感を味わうことは難しいです。そのためスモールステップで少しずつ達成感を味わえる「ドリルパーク」はおすすめです。各ご家庭で是非取り組んでほしいと思います。そして、取り組む姿があればご家庭で評価してあげてください。

学習指導要領が求めるもの（その2）

「対話的な学び」は当校の教育目標に掲げられている「協働」に深く関わっており、「協働的な学び」とともに取り組む必要があります。



協働的な学び

「学校ならではの学び合い、探究的な学び」
(新潟県学校教育の重点より)



対話的な学びとは

「子供同士の協働、教職員や地域との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えることを通じ、自己の考えを広げ深める。」
(文部科学省 HP より)

個人で身に付けた知識・技能を使って、自分以外の生徒や教職員、地域の人々と話し合いや意見交換を通して、生徒の一人一人のよい点や可能性を生かすこと、異なる考え方が組み合わせさり、よりよい学びを生み出していくようにすることが大切なのです。

「対話的な学び」は、中条中学校「学びのススメ」の中にはこのように記述されています。

● 関わり合いを通して学び続ける

考えを広げる【対話的な学び】

- ・仲間と一緒に取り組むことで、新しいことに思い切ってチャレンジすることができる。
- ・互いに足りない点を補い合ったり、教え合ったりできる。
- ・それぞれの違う経験に基づいた、いろいろな意見やアイデアが集まる。

中条中学校学習の柱の3 自主協働には

(1) 考えを広げる【対話的な学び】

- ① 間違いや失敗をおそれず、進んで発言しよう。それは、他の人のヒントにもなる。
- ② 「教えるものは二度学ぶ」の心構えで、みんなのために力を発揮しよう。
- ③ 自分の意見との共通点や相違点を考えながら、他の人の意見を聞こう。
- ④ 他の人の意見には、積極的に反応し、質問をして話し合いを深めていこう。

「主体的・対話的で深い学びの実現」のために、中条中学校では生徒の話し合いの場面を重視しています。話し合いが機能するためには、相手の話をよく聞くこと、否定しないこと、最後までよく聞くことが大切です。また、相づちを打ちながら聞くことも大切です。授業だけでなく様々な場面で取り組みます。